

坂町病院 だより

第14号

2018年4月発行



新潟県立坂町病院

〒959-3193 村上市下鍛冶屋589番地

TEL.0254-62-3111 FAX.0254-62-5431

<http://www.iwafune.ne.jp/~sakamachi-hosp/>

「地域住民に親しまれ信頼される病院」を目指し、当院から地域の方々に健康に関する様々な情報などを提供していくため、「坂町病院だより」を発行しています。

健診を受けましょう



坂町病院 内科 五十嵐 仁



皆さんは健診を受けていらっしゃるでしょうか。ここでいう健診とは、胃がんや肺がんなどのガン検診ではありません。血圧を測ったり、心電図をとったり、血液や尿を検査したりする、一般健診のことです。40歳から74歳までが対象の特定健診と、75歳以上の後期高齢者医療健診がそれに当たります。一般の人から見れば、目的のはっきりしない地味な健診と思われるでしょうが、実はみなさんの健康を守ってくれる大事なもののなのです。

多くの人は、症状がないから問題がないと思っているのではないのでしょうか。ガン健診を受けるのは、早期に発見すれば早期治療が受けられ、命を永らえることができるからです。それに対して一般健診の場合は、異常が見つかったとしても自覚症状のないことがほとんどです。病状的にもすぐにお医者さんの診察が必要な訳ではありません。しかしそのまま見過ごしておくと、いつの間にか重病になってしまうのです。

一般健診の内容のほとんどは、日頃の生活習慣が反映されるものです。従って異常を指摘された時は、その方にとって相応しくない生活習慣が潜んでいると考えるべきです。このような場合、日頃の生活習慣を改善できれば多くの異常は改善しうるので。健診後の説明会などで、保健師さんなどが生活上の注意点を説明してくれるのはこのためです。もし一般健診を受けないと、不適切な生活習慣を指摘される機会がなく、時間が経つに病状が悪化してしまいま

す。健診を受けずに体に異常をきたし、初めて医療機関を受診する方が後を絶ちません。一般健診を受けずして異常は気付けないのです。

一般健診の報告書はとても素晴らしいです。過去のデータと合わせて教えてくれるからです。過去と比べてどれくらい改善・悪化しているかが分かります。しかもそのデータはみなさんのお手元に残ります。これを手元に残しておけば5年前、10年前のデータと比較することができます。もしかかりつけの先生が、「健診の代わりにこちらで検査してあげますよ」と言ってくれたとしても、結果を過去のデータと比較して示してくれるのでしょうか。毎回同じ検査をとり洩らしなく行ってくれるのでしょうか。そんなことは期待できません。

さらに一般健診では、身長や体重も記録され、過去との変化も一目瞭然です。身長と体重の経過は、極めて有用な医療情報です。身長が縮んできたら骨粗鬆症を心配します。体重の増減は、メタボの発生やホルモン異常、がんの発生を疑うきっかけになります。医療機関でも、定期的に身長と体重を測定しているところはほとんどありません。主治医の先生から「一般健診の結果を見せてくれませんか」と聞かれたことはありませんか。皆さんの病状を判断する上で貴重なデータが満載なのです。医療機関を受診している人もいない人も、みんな一般健診を受け、自分の健康は自分で守ろうではありませんか。

放射線科の紹介

当院の放射線室では診療放射線技師6名で画像検査を中心に業務を行っています。

全ての検査を各放射線技師がローテーションすることで、24時間・365日いつでも検査に対応できる体制を整えており、診療科や看護部等の部署とチームを組んで医療現場に臨んでいます。

当院に設置してある主なエックス線機器を紹介します。

一般撮影装置

一般撮影とはレントゲン検査とも呼ばれ、胸部、腹部、骨などあらゆる部位を撮影する検査です。

洋服やボタン、金属類等は写真に写り、病変と間違えたり、見逃してしまったりする可能性があります。撮影する部位に応じた身支度を担当の放射線技師が説明いたします。



マルチスライスCT

GE社製16列ヘリカルCTです。X線を回転しながら照射して断層画像を作成します。

短時間でより精密な画像診断を行えるのが特徴です。検査の目的によっては、造影剤を使用することもあります。

この他、得られた撮影情報をもとに3次元画像(立体画像)を作成する画像処理機器を配備しています。



X線TV装置

身体の臓器・器官や内々に挿入しているファイバースコープなどの医療器具の状態確認や、造影剤を使用し動きを観ながらエックス線写真を撮影したり、その他の検査や治療をします。

使用する装置はFPD(Flat Panel Detector)を搭載しており、患者さんや医療従事者の被ばくが少なく診断価値の高い画像を提供することができます。



移動型X線撮影装置

入院されている患者さんまで、一般撮影室まで来ることのできない方の撮影に使用します。

この装置を病室まで移動させ、ベッド上でエックス線撮影ができます。

手術中や救急処置中などもこの装置を使用して撮影することがあります。



PACS(医用画像保管管理システム) Picture Archiving and Communication Systems

従来のフィルムでの画像の読影をデジタル化し、モニター診断を可能にするためのシステムです。



エックス線検査は、被ばくの影響よりも、それによって得られる利益(画像情報)のほうが十分に大きいと考えられる場合にのみ施行されます。また、その都度エックス線の強さや量を調節して、被ばくを必要最小限にする努力をしています。

検査による患者さんの苦痛を低減し、診断に有用な画像を提供すること、患者さんのためになる医療を他メディカルスタッフと協力して提供していくことを目的として日々の業務を行っています。

また、検査前の不安を少しでも軽くし、検査に協力してもらえるように、分かり易く丁寧な説明を心がけています。検査について、また、放射線に関することなど、分からないことなどございましたらお気軽にお聞き下さい。



坂町病院地域医療 介護連携勉強会の紹介

当院では、関係医療機関、福祉施設との相互理解を深め、医療・介護に関する知識を高めると共に、地域との連携を推進する目的で、「坂町病院地域医療介護勉強会」を年3回開催しています。地域医療・介護従事者、行政の方々にお集まり頂き、今年で3年目になります。これまで、「地域包括ケアシステムにおける坂町病院の役割」、「嚥下障害に関わる諸問題」、「福祉施設・療養型病院での感染対策の考え方」などをテーマに勉強会を開催してきました。

昨年度は、退院後も継続する医療が退院後の在宅、施設受け入れを困難にしている現状を踏まえ、インシュリン注射、経管栄養、医療用麻薬等について地域の施設、在宅担当者様への事前アンケートを基にテーマを決め開催しました。10月は、当院の五十嵐診療部長より「高齢者に対する糖尿病治療」と題し、糖尿病と認知症・骨粗鬆症との因果関係、高齢者にも利用しやすい長時間作用型の注射製剤等について講演を行いました。参加人数は約40名、参加された地域の保健師様からは、「重症低血糖を起こすことが認知症に関わる事を初めて知りました。職場内にも伝えたいと思いますし、地域で様々な方に関わる時に伝えたいと思います。数値目標も示して頂き、具体的で大変勉強になりました。」等の声が寄せられました。また、老人保健施設の看護師様より、インシュリン注射を使わず内服だけのコントロールについて質問を受け、活発な質疑応答となり有意義な勉強会となりました。



当坂町病院は、高齢者の急性期医療からリハビリ・介護との調整まで行っています。

高齢者の方が増えていく将来を見据え、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けていけるように、行政をはじめ関係医療機関、福祉施設と顔の見える関係づくり等、協力・連携を推進していきたいと考えています。今後も、各分野最新の知識・技術の勉強会を継続し、地域の方々と共に、地域医療に貢献していきたいと考えております。

バレーボール(体を動かすこと)の魅力

坂町病院バレーボール部 金子 美津子

私はバレーボールを観るのも実際にやるのも大好きです。始まりは小学校3年生にさかのぼります。看護師になってからまたバレーボールをする機会に恵まれ(?)、ここからは9人制のバレーボールを経験することになり、県立病院対抗バレーボール大会で優勝も経験しました。坂町病院に転勤してからはOBやそこから繋がる運動好きの仲間に出会え坂町病院の垣根を越え、20代～60代まで幅広く、何より楽しく練習してます。現在はバトミントンコートで行う4人制のソフトバレーボールをしています。

大会にはクラスがあり年齢関係なく男女が入るフリークラス(ここはもう無理です)・コート内が200歳以上のゴールドクラス・シニアの部レディースクラス(もちろんここが定位置)等に参加しています。大会は別名漬物パーティーです。野菜作りが得意な方たちが自作の野菜で漬けたものを持ち寄り、野菜の出来塩梅や家庭のことなど話通します(それがまた楽しいそしておいしい)。それぞれ親の介護や家庭の悩みはみんなあります。仕事もあります。確かに疲れます。そうやって時間をやりくりしながらみんなと練習したり大会に出るのは大変ですが、いろんな意味でストレス発散になります!練習で汗をかくと疲れも心地よく感じます!

運動は習慣化されるまで一人で続けることは難しいと思います。でも誰か仲間がいると声をかけてくれます。だから辞められないのかもしれませんが(笑)。ありがたいです(涙)。実はバレーボール以外の競技は全くと言っていいほどできない私ですがこれからみんなと怪我や病気をせずバレーボールができることに(いろんな方々に)感謝して長～く楽しくやっていきたいと思っています。

これから暑くなりますが皆さんも楽しく体を動かしてみたいはかがですか?



外来診療のご案内

外来診療等担当医師一覧

平成30年4月1日現在

階			月	火	水	木	金
1階	内科	1 診	総合診療外来 第1・3週 近 幸吉 第2・4週 新潟大学 午前のみ	田邊 靖貴 杉山 幹也 14:00～ 【肝臓】 再来予約のみ	関根 輝夫 午前のみ	丹呉 益夫 黒川 允14:00～ 再来予約のみ	黒川 允 午前のみ
		2 診	鈴木 薫 第1週 鈴木 ペースメーカー 外来	黒川 允	鈴木 薫 安斎 博隆 13:30～ 【消化管】 再来予約のみ	鈴木 薫	鈴木 薫
		3 診	新潟大学【循環器】 午前のみ	近 幸吉 10:30～	近 幸吉	近 幸吉 10:00～	新潟大学【循環器】 午前のみ
		4 診	第2・4週 新潟大学 五十嵐 仁 (午後)	姉崎 一弥 午前のみ	五十嵐 仁 10:00～	五十嵐 仁 五十嵐 仁 13:10～ 糖尿病透析予防外来 再来予約のみ	姉崎 一弥 午前のみ
		5 診 (場所は眼科)				黒川 允 午前のみ	
	フットケア外来			予約のみ		予約のみ	
	外科	1 診	新潟大学 10:00～	水木 享	富田 広 水木 享	水木 享 富田 広	富田 広
		2 診	富田・水木(予約及び紹介のみ)	富田 広			
	ストーマ外来 10:00～				第2・4週 富田		
	整形外科					第2週 渡部和敏(新潟田病院) 第4週 三輪 仁(新潟田病院)	
	眼科			上田 潤 受付11:00まで	中野里絵子(新潟大学)		
2階	小児科	1 診	今田 研生	今田 研生	今田 研生	今田 研生	今田 研生
		2 診	新潟大学	新潟大学		新潟大学	
		午後 乳児健診13:30～ 喘息外来13:30～ 予防接種13:30～		今田 研生(予約制)	今田 研生(予約制)		
						第1週～第4週 今田 研生	
	耳鼻咽喉科 (午後)				新潟大学		新潟大学
	皮膚科 (午前)		新潟大学				新潟大学
	泌尿器科 (午前)				新潟大学		新潟大学
※	人間ドック		鈴木 薫		関根 輝夫	丹呉 益夫	黒川 允

受付時間

8:00～11:30まで

○内科

新患のみ受付：月曜日は1診・2診、火～金曜日は1診

○外科

その他の外来：再診専門

○整形外科

月曜日：10:00から診療

○眼科

受付は8:00～10:30まで

○耳鼻咽喉科

火曜日：手術のため受付は8:00～11:00まで

○歯科

水・金曜日：13:30～15:30まで

全て予約制

受付方法

初めての方、診察券をお持ちでない方は、申込み用紙を記入して受付1番窓口へ保険証を添えてお出しください。診察券をお持ちの方は、保険証と診察券を受付1番窓口へお出しください。

予約方法

予約の方は直接予約科へ、予約以外にも受診したい科がある時は受付1番窓口へお申し出ください。予約の変更をしたい時は、なるべく午後から診療科へ直接電話でご相談ください。

医療相談

当院には、医療相談室があります。各種申請・施設利用希望など、お気軽に何でもご相談ください。詳しくは、診療科の看護師又は受付窓口にお申し出ください。

患者さんの声

より良い医療サービスを提供できるように、患者様等から多くのご意見をいただきたく、1階、2階の待合ホールと3～5階の電話ボックスの5個所に『患者様の声』ポスト（白箱）を設置しております。日ごろ、坂町病院で感じられる事など、お気軽にご意見をお寄せください。

専門外来

当院は、ストーマ外来、フットケア外来、透析予防外来を設けています。詳しくは、ストーマ外来は外科、フットケア外来と透析予防外来は内科にご相談ください。